



ほうこ



めざせ!
日本一!



音更町立西中音更小学校 学校だより No. 9

文責: 松井 眞治

花は一輪でも美しい。が、花束は互いの美しさを高め合っているから更に美しい。

根拠のない自信

秋に黄葉や紅葉に色を染めた樹木もすっかり葉を落とし、越冬の準備が整ったようです。彼らは、やがて訪れる春を夢見て、冬眠にはいったのです。気象庁の三か月予報によれば、太平洋側では、平年同様、晴れが多くなるとのこと。雪の量はどうなるのでしょうか。



新コロナのパンデミックは、終息の兆しが見え隠れしながら、ついに三度目の年末を迎えてしまいそうな勢いです。ある調査によれば、この年末に忘年会を予定している企業は、3割ほどで、他は今年も見送るとのことでした。正直言うと、「私は感染しないかも。」という根拠のない自信がありました。これは、人類が本来もっている「正常性バイアス」という、心のシステムによるものです。何か起こる度に反応していると精神的に疲れてしまうので、過剰なストレスを回避するために自然と脳が働き、心の平安を守る作用が備わっている…というものです。でも、最近の感染状況を目にすると、改めて人ごとでは無いと感じています。

翻って、「根拠のない自信」といえば、以前読んだ本に、～根拠のない自信を育てる大切さ～という一節がありました。「全面的に受容される時期があるほど、人間は安心して自立でき、ありのままの

自分を承認されることが自信になる。これが育っている人は、失敗を恐れず、挫折などにめげないで意欲と感動をもって生きていける」とのこと。勉強や運動ができるという「根拠のある自信」を大事にすると、自分より優れた相手に出会ったり成果が得られなかったりする時、簡単に劣等感を覚えてしまうそうです。ややもすると、学校は後者を中心に育てている?…とならないよう、ご家庭との連携を深めながら学校経営を進めていきたいと考えています。

西中音小の11月は?

11月といえば秋と冬の境目で、そろそろ霜が降りる月で霜月、他に八百万の神々が出雲大社から帰っていらっしゃるということで神帰月とも…。11月の本校は行事に追われた日々でした。みんな本当によく頑張ったね。

一人はみんなのために

12日(土)、保育所と連携した西中音更学習発表会が、本校体育館で行われました。新型コロナウイルス感染防止対策として、観客席は距離を保ったパイプ椅子、各ご家庭、保護者・兄弟・祖父母までで、1時間に一回換気をしました。



主役である17名の子どもたちは、「笑顔輝く学習発表会にしよう!」のテーマの実現に向けて、日頃の学習の成果の一端を発表すべく、10日間+アルファの練習時間をフルに活用し、休



み時間も使いながら真剣に練習にふける姿が見られました。どの学年も、学級の出し物+全校での器楽や演劇と、一人の出番が多いです。細かく見ると一人4~5個の出し物に参加し、台詞



や歌詞、楽曲などを覚えなければなりません。これは小さな学校の特色の一つです。にもかかわらず、本番、子どもたちは見事自分の役割を果たし、素晴らしい劇や合唱、器楽演奏を披露してくれました。一人の力は



小さくても、学級や学校のみんで力を合せたら、素敵なパワーになるのです



ね。同時に子どもたちの可能性の大きさを感ずることが出来ました。



当日は、60人程の皆さんが来校され、子どもたちの頑張りに温かい拍手をたくさん送ってくださり、有難うございました。

育て収穫し食べる

15日(月)、ますやパン(株)の杉山さんを講師にお招きし、ピッツァ作りに挑戦しました。この企画は、本校のコミュニティスクール活動の一環で、



学校運営協議会の皆さんも参加し、一緒に活動してくださいました。春先

に全員で小麦の種をまき、秋にハサミで収穫し、乾燥後石臼で製粉した小麦を原料に使用しました。トッピングには、自分たちで育てた野菜(枝豆やミニトマト等)を含め、玉ねぎやピーマン等の地元野菜を使用しました。ピッツァ作りの詳細は、「CS通信しなな第2号」をご覧ください。

ちょっと先の未来へ

21日(月)、高学年が駒場中学校主催の中学校体験入学に参加しました。参加対象は、いずれ同じ教室で勉強する駒場小と東士幌小と本校の5・6年生。体験学習は、美術と音楽でした。美術で



は、色の持つイメージや組み合わせで様々な効果が得られる補色効果について学びました。音楽では、町の地域おこし協力隊の片山さやかさんのバイオリンとピアノによる二重奏を鑑賞しました。曲は情熱大陸など、どこかで一度は聞いたことがあ



るものでした。生の演奏に感動しました。「学校でなければ、なにがしかのお金をいただくところですが…」とピアノの方がおっしゃっていました。

ともあれ、6年生は、来年度の4月の様子がイメージできたのではないのでしょうか。小学校生

活も残すところ4か月です。やり残しが無いよう、二度とやってこない一瞬一瞬を精一杯生きていってほしいと思います。

誰のための一票？

25日(金)、高学年が、消費者教育と模擬選挙出前授業を受けまし



た。当日は、町の選挙管理委員会の方と教育委員会のお二人の方が来校し、前者につい

ては、「消費者」としての意味合いや役割、問題点などを学び、それぞれが消費者としてどう行動すれば



よいか等を学ぶことができました。後者については、平成27年公職選挙法の一部の改正に伴い、選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを受け、選挙の意義や仕組みを学びました。その後、実際の投票所を再現した場所で、投票体験をすることができました。いずれ



与えられる権利がどれだけ大切でどれだけ尊いものかを学ぶことが

できました。あなたの一票は誰のためのものですか？

伝統は親から子、孫へと…

30日(水)、地域参観日が行われました。今回は、伝統の「西中小祭り」です。これっ



て、いつから続いているのかな？と思い「からまつ」を創刊号から見直してみました。すると、1986年発行の第21号でやっとその形跡(感想文)を見付けました。それによれば、全校相撲大会、おみこしパレード、金魚すくい



やヨーヨーすくいなどなど、本気の祭りの様子が事細かに描かれて

いました。更に、金魚は一人三匹までだっ

たのに、校長先生が一匹おまけしてくれたことまで、書いてありました



(笑)。それから36年の歳月が経ちました。残念ながら、当時と同じようにはできませんが、その時のねらいや願いはしっかり受け継いで行こ



うと、改めて思いました。というわけで、今回は「ターゲットキック」「まとあて屋」「のろいのおぼけ屋しき」の三つとお母さん方による「ヨーヨー釣りや型抜き



…」となりました。皆様、楽しんでいただけましたか？

縁の下の力もちに感謝

PTAの皆様、お世話になります。先日は、厚生部のお父さん方がリンク小屋移設やビニールハウス片づけなどをして下さいました。また、文化部のお母さん方は、西中小祭りのためにお店を開いて下さいました。本当に有難うございます。感謝しています。

12月のだいたいの行事

- 1日(木) 交通安全の日
- 2日(金) 駒場地区小小連携(高)毛筆授業(高)
- 4日(日) 音更教育を考える日
- 5日(月) 振替休日
- 7日(水) 職員会議
- 9日(金) 町校長会議(午前) 町教頭会議(午後) 定時退勤日
- 13日(火) 帯広大谷短大連携事業
- 15日(木) 交通安全・安全点検日 消費者教育授業(高) 移動図書
- 16日(金) 児童会
- 19日(月) 全校朝会
- 20日(火) リンク開き(予定)
- 21日(水) 毛筆授業(中・高)
- 23日(金) 終業式 大掃除 定時退勤日
- 24日(土) 冬季休業(～1/16迄)
- 29日(木)～3日(火)は閉庁日です